

2024年下半期報告書

2024年下半期における活動内容について報告いたします。

2024年上半期に1年間契約を締結した26校の提携校を活用し、第1回Will Abroad海外留学促進化プログラムを実施しました。このプログラムでは、多くの応募をいただき、学生の皆様の海外留学への関心の高さを再認識することができました。しかし、不運にも、第一志望の大学に志望者が集中する傾向が見られたため、全員の希望を満たすことが難しい状況となりました。それでもなお、数名の合格者が確定し、2025年夏から4年間の海外留学を開始することが決定しました。これにより、Will Abroadの活動が学生の将来に具体的な影響を与えることが実証され、大変意義のある取り組みとなりました。

さらに、ウェブサイトの公開を開始しました。このウェブサイトは、留学希望者が必要な情報を容易に得られるよう設計されています。現在もなお、デザインや機能の改良を続けており、より直感的で使いやすいプラットフォームとなることを目指しています。完成予定は2026年末ですが、途中段階でも情報提供の場として有効活用されています。

また、下半期では新たに「プロジェクト2030」を発足しました。このプロジェクトは、将来的により多くの学生が留学に挑戦できるよう、さまざまな障壁を取り除くことを目指しています。具体的には、留学費用の軽減、奨学金制度の充実、オンラインサポートの強化、さらに提携校の拡大を目指して活動を展開しています。この取り組みを通じて、留学を希望する全ての学生に平等なチャンスを提供する環境を整備することを目指しています。

これらの活動を通じて、Will Abroadは留学のハードルを下げるための重要な役割を果たし、学生がグローバルな視点で学び成長できる場を提供しています。2025年以降もさらに取り組みを進化させ、より多くの学生が夢を実現できるよう尽力してまいります。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

海老澤 賢齊
2024年1月10日